

カリキュラム一覧

専門分野別研修 ①乳児保育

* 修了証の交付を受けるためには、すべての研修を受講する必要があります。



No.	テーマ	内 容	講師名	日 時	会 場
1	乳児保育の実践と記録	日々の子どもたちの姿を丁寧にとらえ、記録することが明日の保育につながります。子どもたちがどんなことに興味をもっているのか、どんなことを楽しいと思っているのかを見極めながら子ども主体の乳児保育を展開しましょう。指導計画、ねらい、生活や遊びの内容、記録、評価など保育の質を高めるために意見交換やワークを通して学びましょう。	大方美香さん 大阪総合保育大学	7月3日(木) 10:00-16:30	たかつガーデン アジサイ (地下2階)
2	乳児の発達と遊び・環境	子どもの姿から一人ひとりに適した遊びを提供するためには、子どもの育つ道すじや特徴を踏まえるなど、発達の過程を理解することが大切です。子ども自らが主体的に遊べるよう、乳児の発達に応じた遊び・環境と保育者の関わりについて実践やワークを通して学びましょう。	瀧 薫さん 大阪芸術大学 (社福)子どものアトリエ	9月8日(月) 10:00-16:30	たかつガーデン たかつ (8階)
3	乳児保育の意義と発達に応じた保育内容	0.1.2歳児にとっては、他者との関わりを初めてもつ時期であり、その出会いの中で自我が形成されるなど、心身の発達にとっても極めて重要な時期であるといわれています。そのため、保育者として子どものサインを適切に受け取り、子どもたちの自己選択を促しつつ、温かく応答的な関わりが重要です。愛着形成と自己肯定感を育むことを大切に乳児期の保育の意義と発達に応じた保育内容について学びましょう。	阿部和子さん 大阪総合保育大学 大妻女子大学	11月25日 (火) 10:00-16:30	たかつガーデン アジサイ (地下2階)

※日程を変更しています。ご注意ください。
時間、会場の変更はありません。

専門分野別研修 ②幼児教育

* 修了証の交付を受けるためには、すべての研修を受講する必要があります。



No.	テーマ	内 容	講師名	日 時	会 場
1	幼児の遊びと環境 ～子どもと共に豊かなごっこ遊びの発展を～	豊かな遊び環境を作るためには、子どもの興味を知り、子どもとやり取りを重ねると同時に、大人自身も創造力を柔軟に広げていく必要があります。「こんなあったらおもしろい!」「明日も続きよな!」など、子どもが好きな遊びに出会い、自己を存分に発揮し、友だちと夢中になって創りだす幼児のごっこ遊びの意義や発展について、交流しながら学びあいましょう。	瀧 薫さん 大阪芸術大学 (社福)子どものアトリエ	7月11日(金) 13:30-16:30	たかつガーデン アジサイ (地下2階)
2	幼児教育の意義と発達に応じた保育内容 ～プロジェクト・アプローチで生まれる子ども主体の保育～	「子どもと対話しながら遊びや活動を進め、環境を構成していく実践を」と願い、保育されている園が増えていますが「どうしても保育者主導になってしまう」「遊びの展開が難しい」など、様々な悩み、課題があるようです。子どもの様子をよく見て、興味・関心をとらえ、とともに『つながる保育』の理論と実践から子どもの主体性を軸にした保育の在り方を学びましょう。	青木一永さん 大阪総合保育大学 (社福)檸檬会	8月1日(金) 10:00-16:30	たかつガーデン たかつ (8階)
3	遊びを中心とした指導計画と子ども理解に基づいた記録・評価	一人ひとりの子どもの姿を丁寧にとらえ、子どもを理解する中で保育・教育課題が見えてきます。遊びをどう読み解き、どう援助につなげていくのか。保育現場における根本的なテーマに向きあい、実践記録を基に『援助』と『展開』を丁寧にひもときます。実践を記録に残すこと、そして読み返すことで保育において大切なことは何かを学びましょう。	中橋美穂さん 大阪教育大学	9月4日(木) 10:00-16:30	
4	幼保こ小における架け橋プログラム ～小学校との接続に向けて大切にしたいこと～	幼保こ小連携の重要性・必要性が謳われたはずいぶん経過しました。各市町村では、交流や相互参観の取り組みを行っている施設も多くなってきています。一方で保育内容・指導内容にまで踏み込んだ『架け橋プログラム』を共に作ろうと模索しているところはまだまだ多いとはいえません。「子どもたちの育ちをつなぐ」という子ども主体を柱にした連携を目指して共に考えましょう。	神長美津子さん 大阪総合保育大学 國學院大学	10月2日(木) 13:30-16:30	たかつガーデン アジサイ (地下2階)



専門分野別研修 ③障がい児保育

*** 修了証の交付を受けるためには、すべての研修を受講する必要があります。**



No.	テーマ	内 容	講師名	日 時	会 場
1	支援の必要な子どもの理解と環境構成 ～一人ひとりの育ちと集団の育ちを意識して～	支援の必要とされる子どもたちは園において何に困り、どのような支援を必要としているのでしょうか。保育者が「同じことを繰り返すことで落ち着くね」「こだわりたいよね」「何につまずいているのかな？」など個々の困り感やこだわり、表現の仕方などを理解することが具体的な援助につながります。発達過程を尊重しながら集団の中で他児と共に育ちあえる環境構成について、事例をもとに学びましょう。	鶴 宏史さん 武庫川女子大学	7月7日(月) 13:30-16:30	たかつガーデン アジサイ (地下2階)
2	一人ひとりの障がいを理解し、適切な支援を学ぶ ～困っている子どもへの支援・指導計画～	子どもが何に困っているかに気づくことが支援の第一歩だといわれています。子ども一人ひとりの違いを受けとめ、社会性やコミュニケーション、こだわりなど、それぞれの支援のポイントについて学びます。また、障がいのある子と共に育つ保育・教育の実現に向けて必要な環境、遊び、生活の具体的な手立てなどを支援計画の立案演習を通して学びましょう。	伊丹昌一さん 梅花女子大学	8月12日(火) 10:00-16:30	たかつガーデン たかつ (8階)
3	子どもは「何にどう困っている?」「どうしたいと思っている?」 ～発達が気になる子どもの理解と援助～	保育者は様々な表情やしぐさを見せる子どもたちとどのように向きあえばよいのでしょうか。障がいがあるかどうかではなく、子ども自身が何に困っているのか?どうしたいと思っているのか?など、日々の姿からアセスメントし、子どもの困り感を具体的に理解する視点が求められます。目の前の子どもたちを思い浮かべながら援助につながる手立てについて学びましょう。	木曾陽子さん 大阪公立大学	9月3日(水) 13:30-16:30	
4	障がい児保育において、個々の発達を理解し、保護者に対応し、関係機関とつながる手立て	発達障がい、もしくはそう思われる子どもたちの行動の理解と対応について学びます。保育の場で見られる具体例を挙げて、子どもと保育者が気持ちを寄せあうことができる手立てをお伝えします。さらに保護者への具体的な手立てや関係機関との連携についても学びましょう。	野藤弘幸さん 作業療法学博士	11月4日(火) 10:00-16:30	たかつガーデン アジサイ (地下2階)

研修会場マップ



たかつガーデン

住所: 大阪市天王寺区東高津町7-11

- 近鉄「大阪上本町」駅地上ホームより
約200m
- Osaka Metro谷町線・千日前線
「谷町九丁目」駅より約500m

研修会場に関する お願い

- ☆ 研修会場への連絡はご遠慮ください。お問い合わせ等は当法人まで
お願いいたします。TEL 06-4790-2221
- ☆ 駐車場の有無に関しては、研修施設のホームページをご確認ください。

気象警報発令時及び緊急時における研修等の取り扱いについて

- 研修日当日の延期に関する最新情報は、当法人ホームページ『イチオシ情報』をご覧ください。
(一日研修は研修日当日の午前7時、午後のみ研修は午前11時までには決定いたします。)

